

ホソバカナワラビ

[シダ] 《中間》



最下羽片の下側第一羽片は長い。



葉脈は縁に達し、葉軸・羽軸に鱗片がある。



側羽片は5～10対。

区別のポイント

3～4回羽状深裂。最下羽片の下側第一羽片が長い。羽片は上に向かって次第に短くなるが、はっきりとした頂羽片がある。

形態 常緑性のシダ植物。

分布 本州（石川県・関東地方以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来

葉 **〈全体〉**小さい葉では2回羽状複生もある。

〈葉柄〉長い葉柄があり、基部は褐色の鱗片が多い。

〈羽片〉羽片は5～10対。側羽片と同型の頂羽片がある。最下羽片の下側第一小羽片は著しく長い。上側第一小羽片も大きくなることが多い。

備考 出典は、シカWG報告から、環境省報告書「平成17年度屋久島における生物多様性の維持機構の保全に関する研究」では、嫌いなものに分類。

出典 2, 5, 12, 14